

# 2021 年室内環境学会学術大会で当社研究員の報告 「エアコンから吹出されるカビと室内浮遊カビ濃度」が 大会長技術賞を受賞しました

2021 年室内環境学会学術大会（2021 年 12 月 2～4 日：京都リサーチパーク）にて発表した演題が大会長技術賞を受賞しました。

タイトル：エアコンから吹出されるカビと室内浮遊カビ濃度  
筆頭発表者：橋本一浩

本研究では、家庭用ルームエアコンから吹出されるカビについて調査しました。その結果、調査したエアコンの 90%以上がカビに汚染されていることや、吹出されたカビ胞子が部屋全体に広がっている様子が判りました。対策として、エアコン稼働直後 15 分程度の窓開け換気を行うこと、シーズン初めにクリーニングを実施することが有効と示しました。

橋本一浩のコメント

「研究成果が高く評価されたことをうれしく思います。今後も地道な研究を重ね、生活の向上につながる情報を発信してまいります」



表彰式の様子（2022 年 12 月 1 日：江戸川区総合文化センター）

※2022 学術大会にて前年の表彰を実施